

平成29年度に20歳を迎える新成人を祝おうと、8月15日(火)総合文化センターパルナスで中泊町成人式が開催されました。

当日は対象者136人(男64人、女72人)のうち、105人(男51人、女54人)が参加し、あでやかな着物や夏らしい浴衣姿で、久々に再会する喜びを分かち合っていました。また、出席した恩師と、近況を伝え合ったり、成人式の看板の前で写真を撮ったりしていました。

式典の第1部では、米塚教育長が「生まれ育った場所で出会った『人や環境や体験したこと』が、生涯を生き抜く大きな原動力になります。中泊町に生まれ、多くの仲間とともに学び育ったことを誇りに思い、皆さん一人一人が新しい時代を主体的に切り開いてほしい」と式辞を述べました。新成人を代表して佐藤翔汰さん(下前中)が「恩師、地域の人たち、家族の支えがあったからこそまで成長することができた。これからは周りの人のことも考え、思いやり、精神的にも大人になり、社会に貢献していきたい」と誓いの言葉を返しました。



第2部では、フリースタイル・フットボールチームのBall Beat Crew(ボールビートクルー)から記念アトラクションとともに、応援のメッセージが伝えられました。ボールを自在に操り、次々と繰り出されるパフォーマンスに、新成人達からは驚きの声と大きな拍手が沸き起こっていました。



プロの技に大興奮！

青森ワッツの
バスケットクリニック

バスケットの楽しさを知ってもらおうと、町教育委員会が8月2日(水)、プロバスケットボールチームである青森ワッツの下山大地選手、橋本龍弥選手、菅俊男選手を講師として招き、「青森ワッツ バスケットボールクリニック in 中里小」を開催しました。クリニックには、町内の小学生と町外のスポーツ少年団ら約80人が参加しました。

始めに、ウォーミングアップを兼ねて体幹トレーニング、ボールを使ってのハンドリングや基礎的な練習を行いました。難しそうにしていた児童らも、選手たちから指導を受けると、徐々にできるようになっていきました。

次に、選手と児童でミニゲームを行いました。児童らは不安そうな顔を見せていましたが、プロの選手が出す技に大興奮。負けじとゴールを狙う姿に、周りからは熱のこもった応援が聞こえました。最後に、児童全員と選手たちでゲームを行うと、子どもたちは笑顔でボールを追いかけ楽しんでいました。

参加した子どもたちは「青森ワッツの選手たちは、みんな上手でかっこよかった。楽しかったので、バスケットをやりたい」と笑顔で話していました。

